

（一社）環境創造研究センターの取組について

環境省補助事業

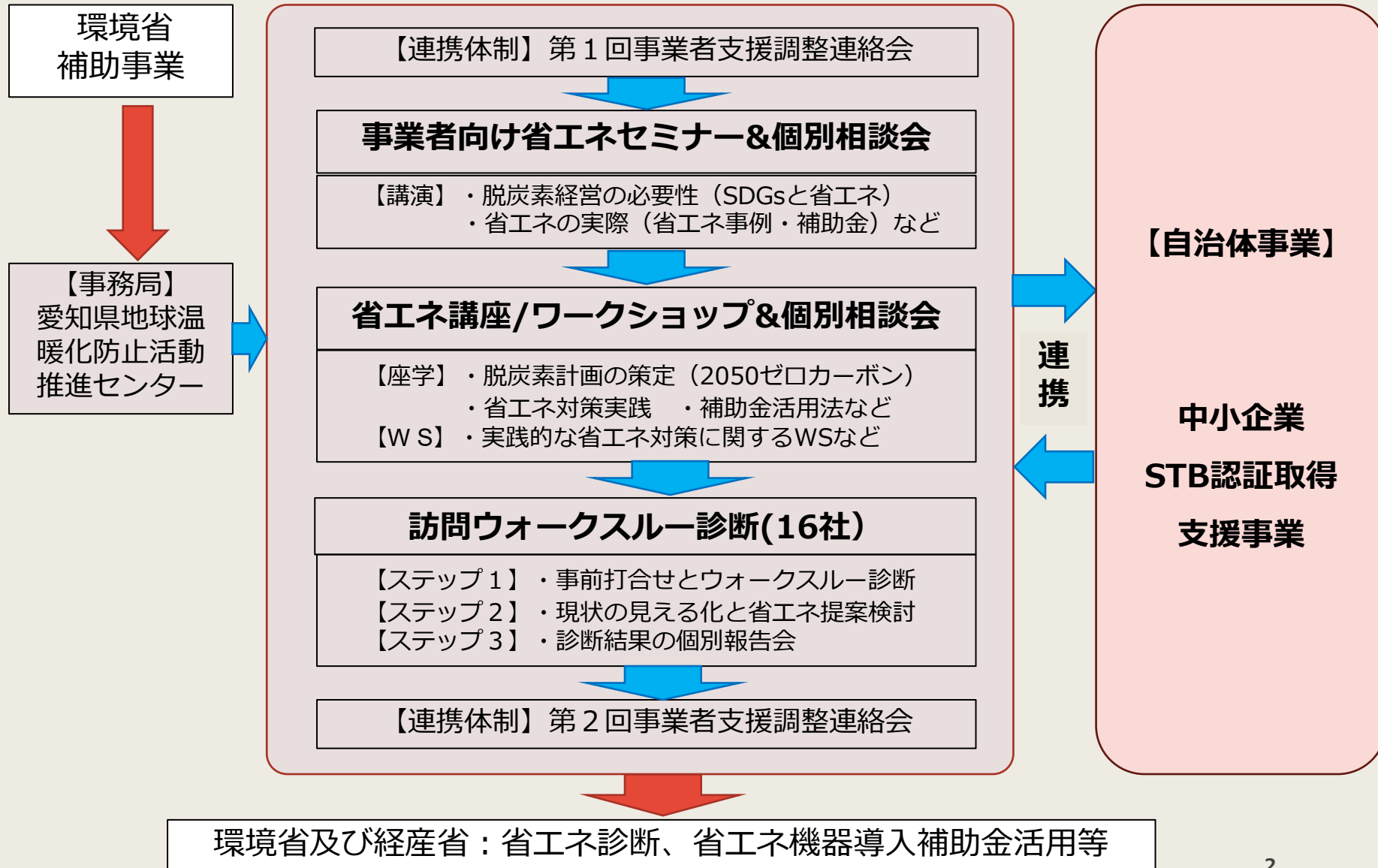
**「地域における地球温暖化防止活動促進事業」の内
事業者支援事業（令和5・6年度）**

**自治体「SBT認証取得支援事業」と連携した
ウォークスルー診断による脱炭素経営支援事業**

令和7年8月

**愛知県地球温暖化防止活動推進センター
（一般社団法人 環境創造研究センター）**

自治体「SBT認証取得支援事業」と連携した 「ウォークスルー診断」による省エネ支援事業



1 事業者支援調整連絡会の設置

地元自治体（岡崎市）を始めとする地域関係者と地域連携体制を構築するため、事業者支援調整連絡会を設置し、年2回（年度当初のキックオフ会、年度末の報告会）を開催した。

- ・ 中部地方環境事務所 地域脱炭素創生室
- ・ 岡崎市 ゼロカーボンシティ推進課
- ・ 岡崎商工会議所 産業振興第一課
- ・ 六ツ美商工会 ・ ぬかた商工会
- ・ 岡崎信用金庫 営業店支援第二部
- ・ 全国エネルギー管理士連盟 理事
- ・ 中部大学中部高等学術研究所 研究員
- ・ 愛知県地球温暖化防止活動推進センター



2 事業者向け省エネセミナーの開催

SDGsの潮流や世界・日本の動き、さらに「2050年カーボンニュートラル」に向けた「地域脱炭素ロードマップ」を示すとともに、エネルギー効率化経営によるメリットや社会貢献についての理解を深めるため、「SBT認証取得支援」連携セミナーを開催した。



岡崎市地域密着型事業 連携セミナー

事業所
向け

**省エネセミナー
& 個別相談会**

参加
無料

岡崎市内の中小規模事業所を対象として、CO₂排出量削減やエネルギーの効率化がもたらす経営メリットや社会貢献について理解を深めるため、無料のセミナーを開催します。

日時・会場

2024年11月8日(金)
13:30~17:00

岡崎市福祉会館 6階大ホール

岡崎市福祉会館 岡崎市下町2丁目1番地

第1部 事業所向け省エネセミナー 13:30 - 15:50

岡崎市内における「2050年ゼロカーボン宣言」に向けた取組み、及び中小企業における省エネの取組みについて、学識者、専門家の方々に実例を交えたお話をうかがいます。

- 開会のあいさつ
- 岡崎市内における取組み事例の紹介
 - 岡崎市内における脱炭素の取組み ゼロカーボンシティ推進課 平岩 博弘 氏
 - 株式会社 イースリーさまの取組み 経営企画部 東海康道チーム 辻野 吉華 氏
 - コンサルティング事業部 後藤 友勝 氏
 - 株式会社 英商店さまの取組み 総務部 小沢 佳治 氏
 - 運用改善と設備導入による省エネ対策 エネルギー管理士 大河内 敬博 氏
 - 省エネ機器導入と補助金活用 エネルギー管理士 田中 茂男 氏
 - 閉会のあいさつ

第2部 個別省エネ相談会 16:00 - 17:00

希望する事業所（6社程度）を対象に、無理なく取り組める省エネ対策について、専門家が個別にアドバイスします。

さらに！ 専門家による「省エネ簡易診断」を実施します！！

今回のセミナーとは別に、希望する事業所（6社程度）を対象に、専門家が個別に訪問する「省エネ簡易診断（省エネウォークスルー診断）」を無料で行います。

専門家による省エネ診断や実現に向けた提案を、現地で直接受けられます。

主 催： 岡崎市環境政策課 環境政策推進センター

共 催： 岡崎市

協 力： 岡崎商工会議所 岡崎市内六ヶ町商工会 岡崎市内六ヶ町工芸会

3 事業者向け省エネ・ワークショップの開催

事業所等における「運用改善」や「設備導入」による省エネ活動に必要な情報や体制、具体的な実施方法などについての理解を深め、参加者同士の交流を図るため、省エネWSを開催した。



岡崎市 SBT認証取得支援事業 連携講座

具体的な取組事例をもとに
脱炭素の進め方を考える

2024年1月31日(水) 14:00~16:00

岡崎商工会議所 1階 大ホール

参加無料

申し込みは
こちらから

● 岡崎市内の中小企業関係の方(経営者・副社長担当者等、定員30名程度)に絞った、参加費無料の講座です。
● 「第1部 オープン講座」では、事業者の脱炭素の取組について、専門家の方々に具体的な事例紹介をいただくとともに、ワークショップにより参加者の理解を深めます。
● 「第2部 個別相談会」では、中小企業が無理解なく取り組める省エネ対策について専門家がアドバイスします。

「プログラム」

第1部 オープン講座 14:00~16:00

趣旨説明 原 憲史 氏(中部大学中部高等学術研究所)

1. 運用による省エネをどのように行うか

▶ 事例紹介：運用による省エネとその効果
結果提供：大河内 敬博 氏(エネルギー推進士)

▶ ワークショップ：運用による省エネ — 必要な体制と実施の課題
ファシリテーター：原 憲史 氏
グループアドバイザー：大河内 敬博 氏・田中 茂男 氏

2. 機器更新による省エネをどのように行うか

▶ 事例紹介：機器更新による省エネとその効果
結果提供：田中 茂男 氏(エネルギー推進士)

▶ ワークショップ：機器更新による省エネ — 必要な体制と実施の課題
ファシリテーター：原 憲史 氏
グループアドバイザー：田中 茂男 氏・大河内 敬博 氏

第2部 個別相談会 16:00~17:00

※ あらかじめ参加希望のあった6社程度を企業を対象として行います。(要参加費)

主 催：愛知県地球温暖化防止活動推進センター
共 催：岡崎市 岡崎商工会議所 岡崎市パワースタイル推進委員会 岡崎市のたけのこ会

4 事業者向け省エネ個別相談会の開催

希望する中小規模事業者を対象に、具体的な省エネの方法等について個別に相談・アドバイスを行う省エネ個別相談会を、連携セミナー、省エネWSの開催に併せて、年2回実施した。



5 訪問ウォークスルー診断の実施

意欲のある中小規模事業者16社（令和5年度10社、令和6年度6社）を選定し、技術士やエネルギー管理士などの専門家が個別訪問するウォークスルー診断を実施し、省エネに関する助言や提案を行った。



「ウォークスルー診断による省エネ支援」の実施内容

ステップ 1 : 【現地確認】

- ①事業者の脱炭素経営の悩みや省エネ等の課題をヒアリング
- ②事業所の設備、及びエネルギー関連の資料・データの借用
- ③工場等をウォークスルー診断で状況確認、及び現地アドバイス

ステップ 2 : 【専門家による内業】

- ①現状のエネルギー及びCO₂の見える化
- ②省エネ提案の検討及び診断報告書の作成

ステップ 3 : 【省エネ支援報告会の開催】

- ①ウォークスルー診断による省エネ診断結果の説明
- ②今後の省エネやCO₂排出削減に向けた取組に関する意見交換

各企業等のウォークスルー診断の主要テーマ（令和5年度）

	企業名	業種/主要製品	主要テーマ
1	企業A	廃棄物関連	SBT認証取得に向け「2030脱炭素経営アクションプラン」検討中
2	企業B	産業廃棄物	産業廃液の処理工場、A重油、電力が主で廃液蒸留装置を中心に診断
3	企業C	設備保全	SBT認証取得に向け、CO2削減対策を推進中、太陽光の設置検討
4	企業D	製造業	空調、コンプレッサー、塗装乾燥設備関連を中心に診断
5	企業E	製造業	照明、空調、コンプレッサーの更新に向けた診断
6	企業F	食品関連	新設工場で高効率設備を採用、今後、エネルギー原単位の把握・管理
7	企業G	ガス・石油等 販売	既にSBT認証取得済み、積極的にCNを実践中、今後は運用改善に着目
8	企業H	製造業	既にSBT認証取得済み、積極的にCNを実践中、今後の省エネ対象は、 コンプレッサー、空調、工作機械など
9	企業I	製造業	SBT認証取得に向け、CO2削減対策を推進中、今後は電気使用量の見える化の推進、コンプレッサーの吐出圧力、成型機の保温対策など
10	企業J	製造業	待機電力の削減、変圧器の更新、太陽光の設置、電力の見える化など

各企業等のウォークスルー診断の主要テーマ（令和6年度）

	企業名	業種/主要製品	主要テーマ
1	企業K	施設園芸	多くの温室を保有、A重油と電力で暖房用ボイラーでのA重油の使用大
2	企業L	家具製造	注文家具製造でエネルギーは電気のみ、既に屋根に太陽光設置済み
3	企業M	製造業	プラスチック製品を製造し、コンプレッサーのインバーター化、照明のLED化、エアコンの高効率化、太陽光発電の設置等を検討
4	企業N	製造業	省エネ及びCO ₂ 削減対策を積極的に推進中、ボイラー3カ所を1カ所に集約、燃料を重油からLPGに転換、今後はEMS化対応の推進
5	企業O	教育施設	使用エネルギーは、電気・ガス・灯油で電気は空調・照明、ガスは厨房、灯油は冬季の暖房用、太陽光は設置済み、今後はエネルギーの見える化と運用改善
6	企業P	教育施設	エネルギーは、電気と都市ガスで電気は空調・照明、都市ガスは厨房機器、給湯器等で使用、今後はエネルギーの見える化と運用改善

6 訪問ウォークスルー診断結果のまとめ

【対象事業所の業種とエネルギー規模】

- 訪問ウォークスルー診断： **16事業所（R5:10件、R6:6件）**
- 主な業種は、**製造業、廃棄物関連事業、教育関連施設等**
- 16事業所のエネルギー消費量は、総計**2,242 kl/年**（原油換算）
- 16事業所のCO₂ 排出規模は、総計**4,654 t-CO₂/年**
- 最大CO₂ 排出企業： **1,946 t-CO₂/年**（一般家庭約500軒相当）

【診断における提案の分類と件数】

- 16事業所に対し、**延べ81件の省エネ提案**を実施（1社当たり約5件）
- 提案内容は、**空調関連（27件）、照明関連（14件）、コンプレッサー関連（11件）、換気・ファン関連（5件）、MES等電力監視（5件）**
ボイラー関連（4件）、その他（生産設備10件）、太陽光関連（5件）
- ウォークスルー診断報告会では、エネルギーフロー(構成)の試算など、**今後の省エネの取組に資するアドバイスも実施**

【定量的な省エネ・創エネ提案の概要】

- 16事業所のエネルギー削減効果：**総計 197 kl**（原油換算）
- 16事業所のCO2削減効果：**総計 423 t-CO2**
（16事業所の総排出量の9%程度）

7 事業者支援事業のまとめ

【事業者ニーズ】

- 光熱費削減の**ニーズは高い**（経費削減とSDGsによる社会的な要請）
- 「**2030脱炭素計画**」策定が求められることより、ニーズは拡大
- エコアクション21等の取組も進められているが、**マンネリ化**が懸念

【提案・アドバイス対応】

- 個別のニーズ**を重視、可能な範囲での**定量化による対応**を実施
- 現場の根拠を採用**して推計、それができない場合は参考値を提供
- 脱炭素**に加え、**コスト削減**につながる契約電力の見直しなど、
事業者に寄り添ったアドバイスを実施

【期待される意識変容、行動変容】

- 省エネ取組への**動機付けの強化**が図れたと考える（多くは**実のある議論**を求めており、専門家との対話は**社内的にも追い風**となる）
- 身近な取組の提案は**すぐに行動に移す**ことが期待される（ステップ1で話題にでた換気扇の常時運転をステップ3までに停止するなど）
- 中立的な第3者の意見**(セカンドオピニオン)の価値は高い

【その他】

- 事業者支援調整連絡会の設置による本事業の**地域におけるPR展開**
- 各事業所におけるウォークスルー診断の**テーマ設定と共有**
- 省エネ支援報告会実施による**今後の取組（行動変容）の動機付け**